

しんりんかんだより

年主題

「共に喜んで」～すべての歩みの中～

月主題 3F/2F たのしい/はずませて

‘21 第7号 (vol.55)

2021年10月1日発行



「生命力」

「お母さんは、何で私の事そうやって決めるの！」と娘に言われてはっとしました。高校3年生の娘と進路について話している時の事です。彼女が初めて将来成りたい自分について話してくれたのに、どうして「いいね、応援しているよ。」と言ってやれなかったのか、反省とともに、子どもを卒業し大人へと歩みだそうとしている我が子の成長を感じました。

親は赤ちゃんの時から関わりの中で、ついこの子はこういう子、こういう事が得意で、これは苦手と無意識に決めつけて、その子を理解しているように思っている面があるのではないのでしょうか。実際、我が子は人前でしゃべる事が苦手なので、多くの人と深く関わらなければならない仕事は向いていないのではと思っていました。苦手そうに見える事に挑戦して将来に繋げていきたいという気持ちは、これから自分の人生を生きていく原動力になることでしょう。親としては手放しで応援していきたいと思います。

ままごとコーナーで年中さんのM君とR君が激しい言い合いをしてR君が大声で泣き出しました。保育者が駆けつけようとする、年長の二人の女の子が「あー先生は来なくていいから～」私たちに任せておいてという感じの身振りや表情で保育者を制しました。なんと頼もしい、年長さんの力を信じましょうと見守っていると・・・

「〇〇ちゃんはどうしたかったの・・・」「それで〇君はどうしてほしかったの・・・」と双方の気持ちをじっくりと聞いていました。そして程なくすると、ままごとコーナーからM君とR君の笑い声が聞こえてきました。「あれっもう仲直りしたの?」「うん まあね～」

種から芽、芽から穂、穂から実り、子ども自体の中に、可能性と生命力があるという事を信じて、これからも愛情を注いでいきたいと思います。

(主任 鹿糠 正美)